餃子の王将
日本を美味しく
GYOZA OHSHO

2027年３月期
第２四半期
決算説明会

東証プライム　9936

株式会社王将フードサービス

2026年11月19日

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

目次

01 2027年３月期 第２四半期 決算概要・通期計画 P.03 – P.16

02 業績回復に向けた取り組みと成長投資の進捗 P.17 – P.28

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

2027年３月期 第２四半期
決算概要・通期計画

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

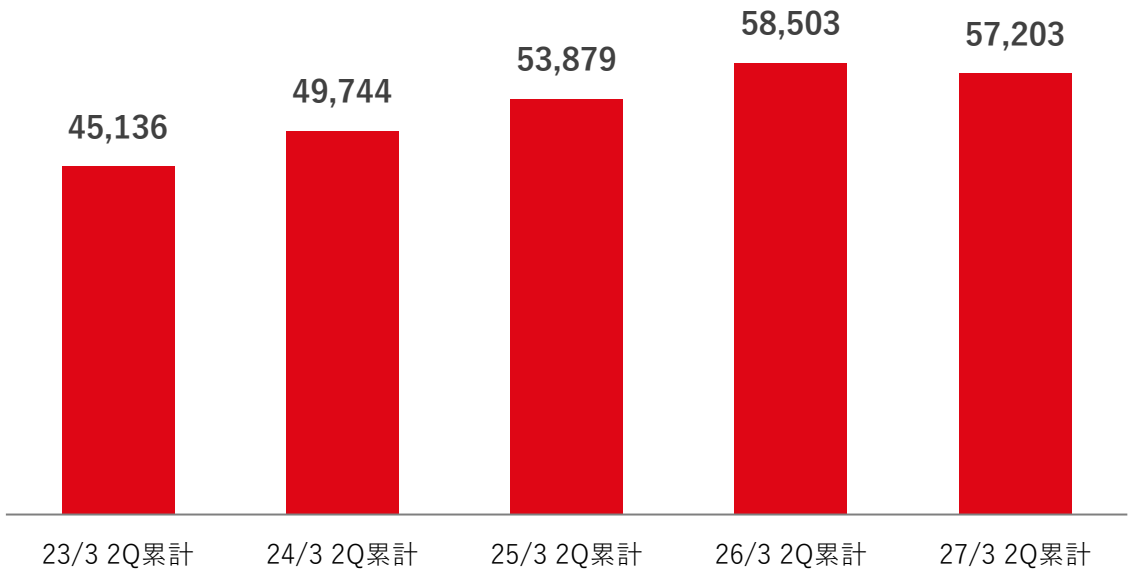
１Ｑの反動減により減収、コスト上昇により減益

2Q(7-9月)は前年同期並みの売上高を確保するも、前年にメディア等の集客効果があった1Q(4-6月)の減少が響き減収。営業利益は、売上高減少に加え、豚肉や食用油等の原材料高騰、人件費増加が影響して減益

連結売上高

57,203百万円

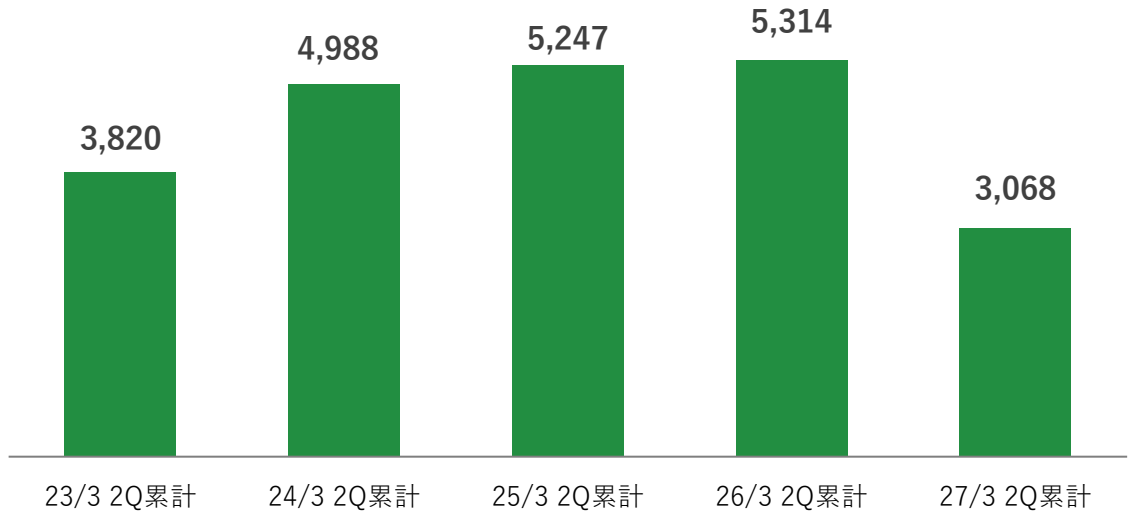
前年同期比
▲2.2%



連結営業利益

3,068百万円

前年同期比
▲42.3%



© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

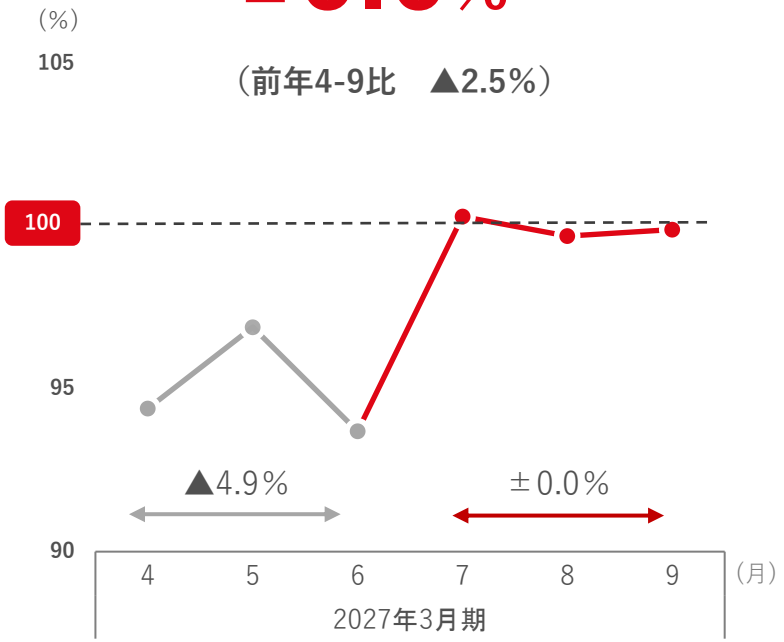
7-9月の既存店売上高は前年同期水準まで回復

既存店売上高は、1Qは伸び悩んだものの、2Qは前年同期程度まで回復。既存店客数は、季節限定商品の投入により2Qはやや持ち直すも前年同期比減少。既存店客単価は、デリバリーが増加し8月以降前年同期を上回る

既存店売上高（前年7-9比）

±0.0%

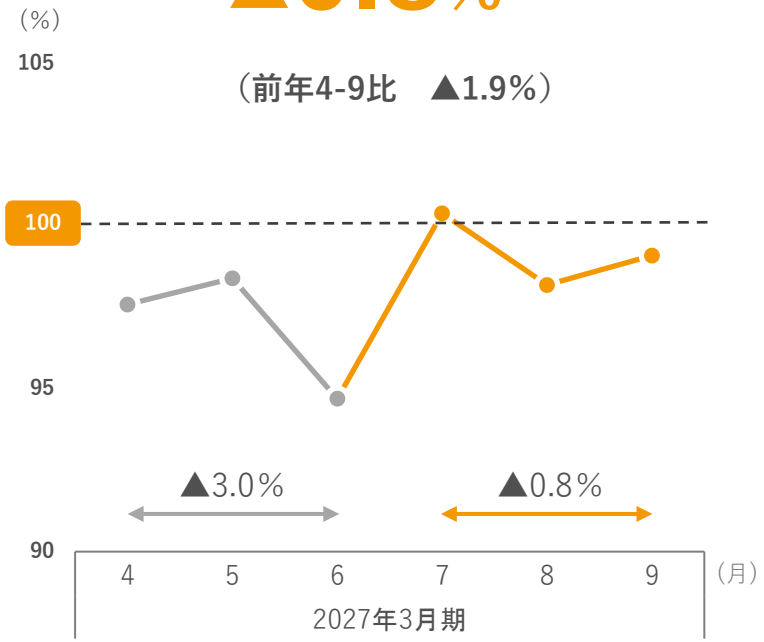
（前年4-9比　▲2.5%）



既存店客数（前年7-9比）

▲0.8%

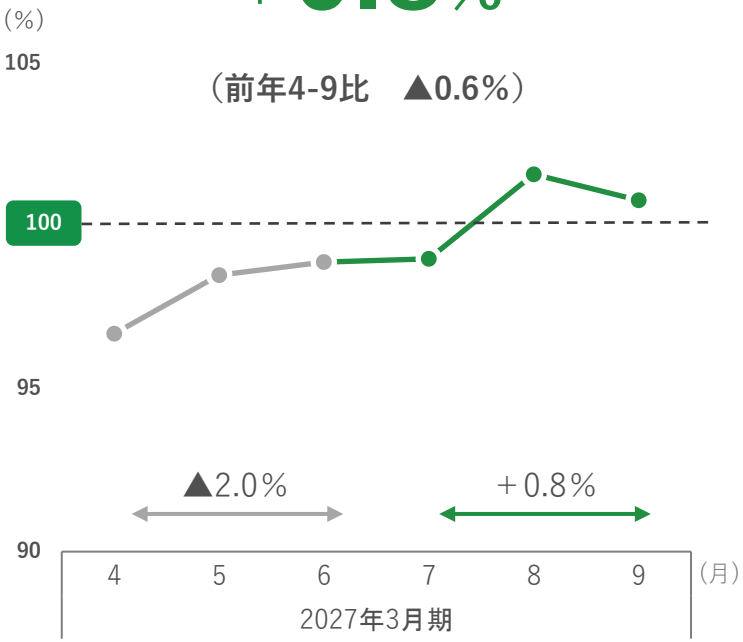
（前年4-9比　▲1.9%）



既存店客単価（前年7-9比）

+0.8%

（前年4-9比　▲0.6%）



© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

（百万円）	2025/3期 2Q累計	2026/3期 2Q累計	2027/3期 2Q累計					
			計画（2026/5/15）	実績	前年同期比		計画比	
					増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	53,879	58,503	60,179	**57,203**	▲1,300	▲2.2%	▲2,976	▲4.9%
店内飲食*1	36,356	40,610	-	**39,710**	▲900	▲2.2%	-	-
テイクアウト・デリバリー*1	12,836	12,884	-	**12,528**	▲355	▲2.8%	-	-
FC出荷売上*1	4,470	4,779	-	**4,664**	▲115	▲2.4%	-	-
売上総利益	36,953	39,577	40,336	**38,257**	▲1,319	▲3.3%	▲2,079	▲5.2%
売上総利益率	68.6%	67.6%	67.0%	**66.9%**	-	-	-	-
販管費	31,706	34,262	35,433	**35,188**	＋926	＋2.7%	▲245	▲0.7%
販管費率	58.8%	58.6%	58.9%	**61.5%**	-	-	-	-
営業利益	5,247	5,314	4,902	**3,068**	▲2,246	▲42.3%	▲1,834	▲37.4%
営業利益率	9.7%	9.1%	8.1%	**5.4%**	-	-	-	-
経常利益	5,469	5,462	5,045	**3,262**	▲2,200	▲40.3%	▲1,782	▲35.3%
経常利益率	10.2%	9.3%	8.4%	**5.7%**	-	-	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	3,645	3,655	3,257	**2,023**	▲1,631	▲44.6%	▲1,233	▲37.9%
純利益率	6.8%	6.2%	5.4%	**3.5%**	-	-	-	-
1株当たり中間純利益*2	64.55円	68.30円	62.01円	**38.51円**	▲29.79円	▲43.6%	▲23.50円	▲37.9%

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

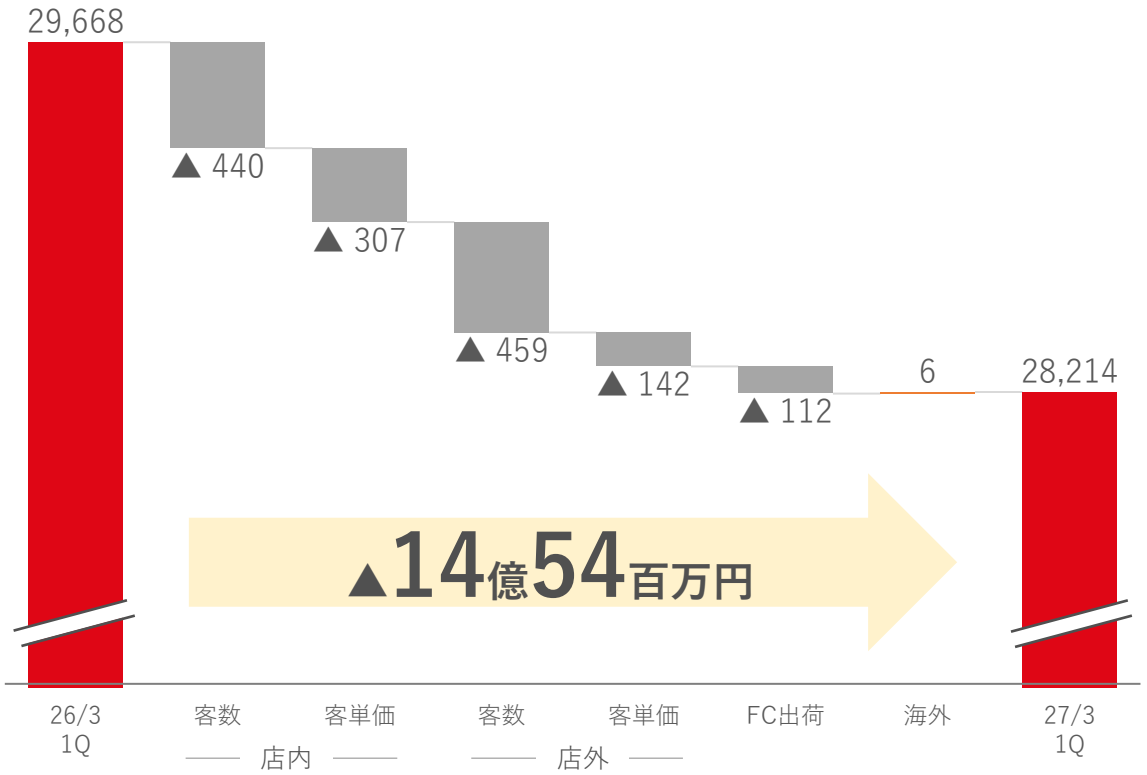
*1 国内店舗 *2 2024年10月1日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割。１株当たり中間純利益の算出は分割後の株数で遡及修正

２Ｑは店内客単価、店外客数がプラスに転換

季節限定商品の投入やセット商品の販売により店内客単価が上昇。デリバリーのキャンペーンなど販促支援が奏功し店外客数が増加。メディア露出の反動減が大きかった１Ｑから、前年同期比プラスに転換

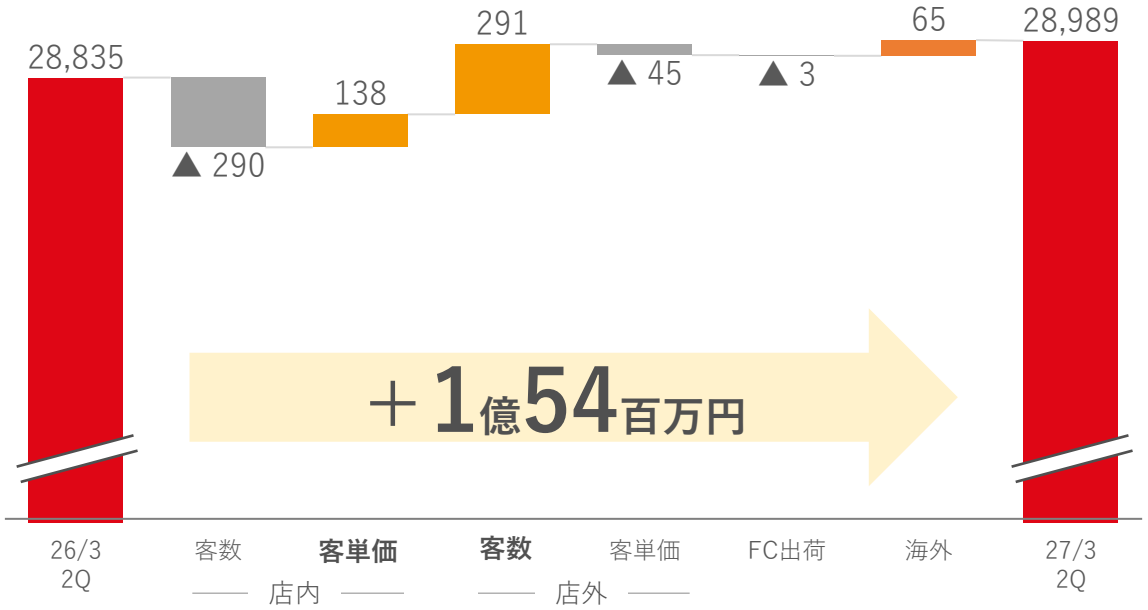
売上高増減分析　１Ｑ

（百万円）



売上高増減分析　２Ｑ

（百万円）



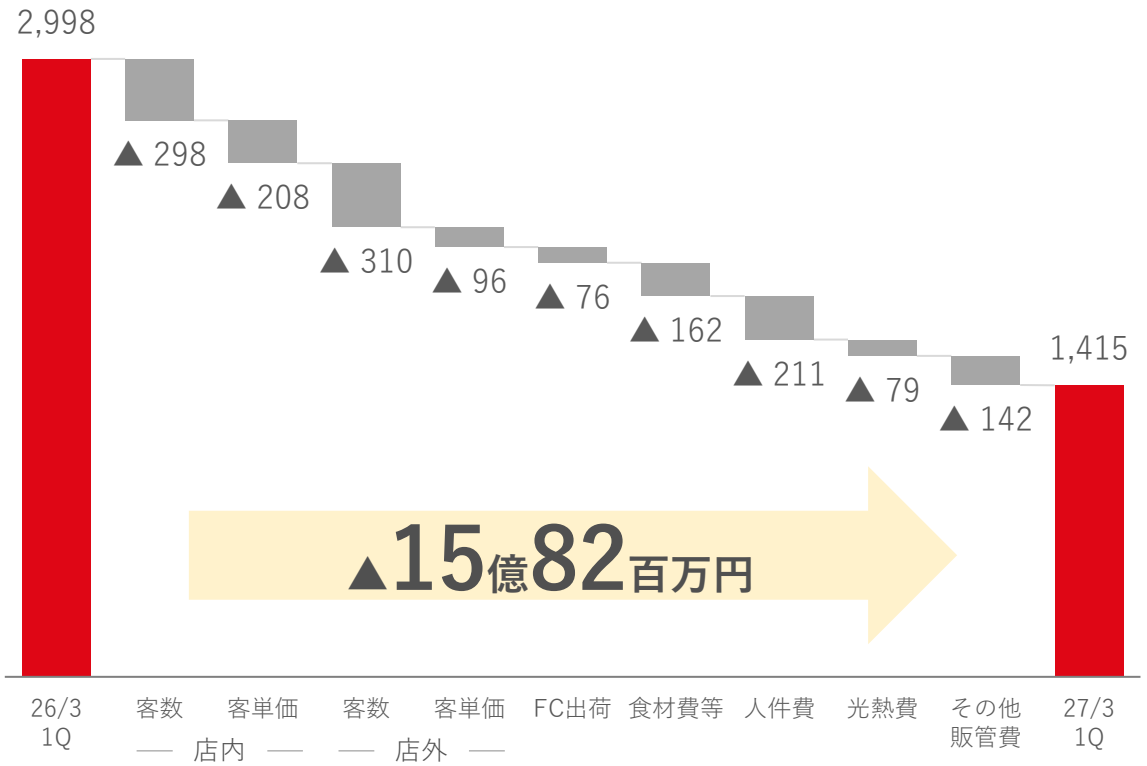
© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

２Ｑは店内・店外とも改善し減益幅は縮小

継続的なコスト上昇の影響を受けるも、
店内客単価と店外（テイクアウト・デリバリー）客数のプラス寄与により、着実に減益幅は縮小

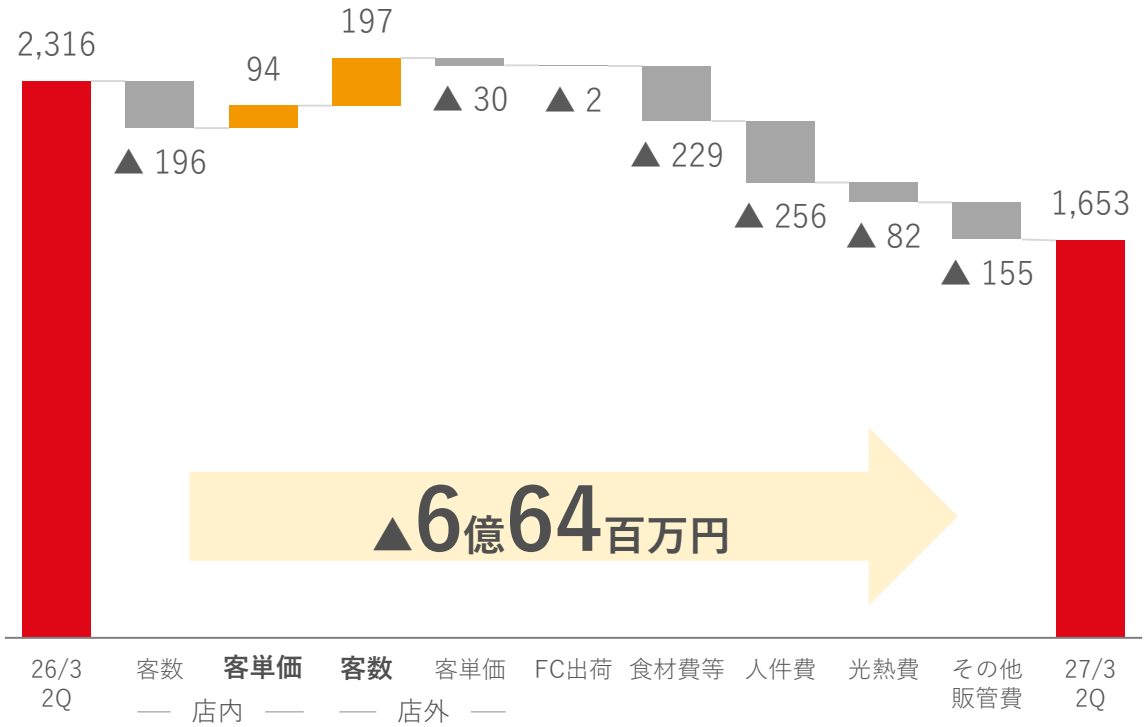
営業利益増減分析　１Ｑ

（百万円）



営業利益増減分析　２Ｑ

（百万円）



© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

既存店収益力は改善傾向

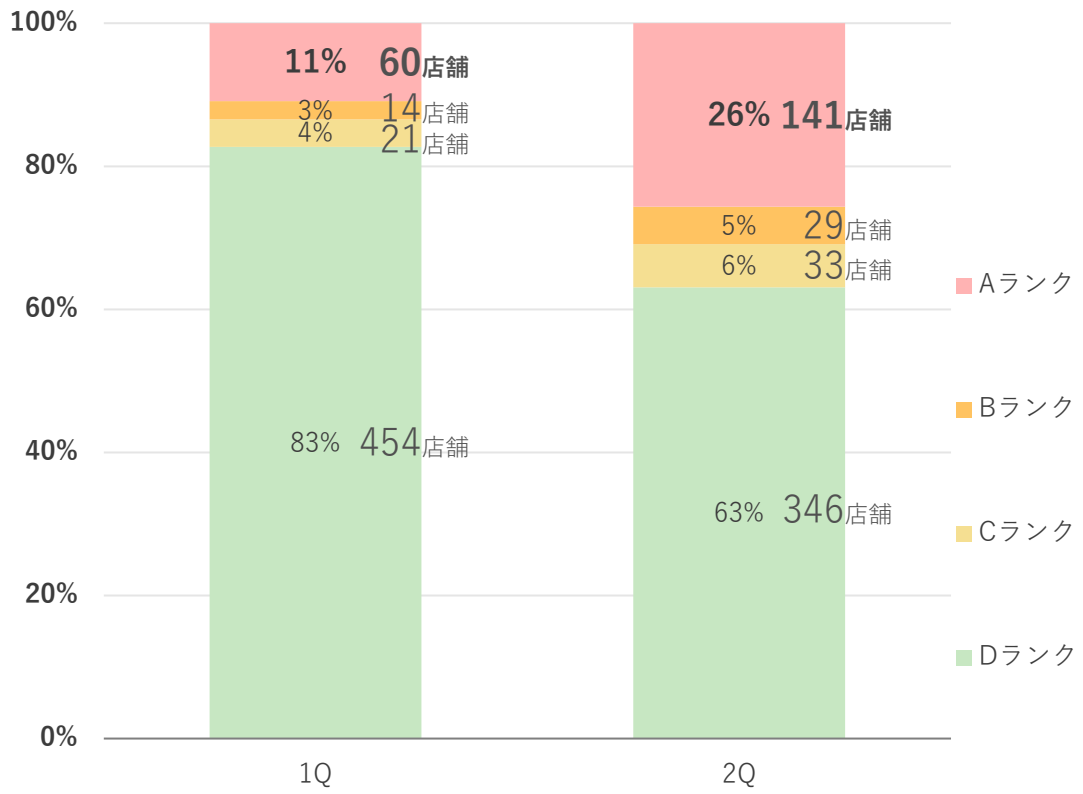
直営店549店舗の内、約３割にあたる152店舗の業績が改善。Dランク455店舗の内、134店舗がランクアップ
前年同期比を上回り、業績を牽引するＡランクの店舗の占める割合は11%から26%に拡大

営業利益の改善

		2Q業績ランク			
	営業利益 前年比	A:100%以上	B：90%以上 100%未満	C：80%以上 90%未満	D：80%未満
1Q業績ランク	A：100%以上	37店舗	2店舗	4店舗	17店舗
	B：90%以上 100%未満	8店舗	2店舗	2店舗	2店舗
	C：80%以上 90%未満	8店舗	2店舗	4店舗	7店舗
	D：80%未満	88店舗	23店舗	23店舗	320店舗

152店舗がランクアップ

営業利益前年比別 店舗構成比



© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

*前年同期比の営業利益額でランク分け。Aランクは前年同期比100%以上、Bランクは同90%以上100%未満、Cランクは同80%以上90%未満、Dランクは同80%未満

2027年３月期 第２四半期累計期間 損益計算書（四半期）

（百万円）	2025/3期 1Q	2025/3期 2Q	2025/3期 3Q	2025/3期 4Q	2026/3期 1Q	2026/3期 2Q	2026/3期 3Q	2026/3期 4Q	2027/3期 1Q	2027/3期 2Q
売上高	26,421	27,457	27,565	29,588	29,668	28,835	28,774	29,560	**28,214**	**28,989**
店内飲食*	17,813	18,543	18,656	20,218	20,539	20,071	19,920	20,650	**19,778**	**19,918**
テイクアウト・デリバリー*	6,300	6,535	6,434	6,857	6,580	6,304	6,247	6,361	**5,977**	**6,548**
FC売上*	2,209	2,260	2,353	2,386	2,432	2,347	2,475	2,423	**2,320**	**2,343**
売上総利益	18,076	18,876	18,631	20,017	20,074	19,502	19,368	19,970	**18,924**	**19,332**
営業利益	2,441	2,806	2,346	3,310	2,998	2,316	2,312	2,783	**1,415**	**1,653**
営業利益率	9.2%	10.2%	8.5%	11.2%	10.1%	8.0%	8.0%	9.4%	**5.0%**	**5.7%**
経常利益	2,576	2,893	2,416	3,425	3,113	2,349	2,404	2,835	**1,608**	**1,654**
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,702	1,943	1,560	2,865	2,134	1,521	1,553	2,261	**988**	**1,035**
純利益率	6.4%	7.1%	5.7%	9.7%	7.2%	5.3%	5.4%	7.6%	**3.5%**	**3.6%**
1株当たり四半期純利益	30.15円	34.41円	27.62円	50.71円	39.23円	29.06円	29.64円	42.92円	**18.81円**	**19.70円**

既存店動向（前年比）	**売上変化**	+6.1%	+7.7%	+5.6%	+13.1%	+10.8%	+4.5%	+3.8%	▲0.8%	**▲4.9%**	**0.0%**
	客数変化	+3.2%	+0.4%	+0.1%	+3.1%	▲0.3%	▲0.3%	▲0.4%	▲2.3%	**▲3.0%**	**▲0.8%**
	客単価変化	+2.8%	+7.3%	+5.5%	+9.7%	+11.1%	+4.8%	+4.1%	+1.5%	**▲2.0%**	**+0.8%**

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

* 国内店舗

自己資本比率は74.3%と高水準を維持

引き続き安定した財務基盤をベースに着実な成長を追求

資産の部

（百万円）	2026/3期	2027/3期2Q	増　減
流動資産	29,833	32,180	＋2,347
現金預金	24,527	26,870	＋2,343
固定資産	55,253	55,609	＋356
有形固定資産	40,426	40,808	＋382
建物及び構築物	15,733	15,965	＋232
土地	19,902	19,902	-
無形固定資産	531	873	＋342
投資等	14,295	13,926	▲369
投資有価証券	4,447	4,041	▲406
差入保証金	4,637	4,674	＋37
貸倒引当金	▲13	▲13	＋0
資産合計	85,087	87,789	＋2,702

負債・純資産の部

（百万円）	2026/3期	2027/3期2Q	増　減
流動負債	15,606	15,752	＋146
1年内長期借入金	2,000	3,666	＋1,666
固定負債	4,410	6,776	＋2,366
長期借入金	1,000	3,333	＋2,333
負債合計	20,017	22,529	＋2,512
株主資本	64,269	64,931	＋662
資本金	8,166	8,166	-
資本剰余金	9,026	9,082	＋56
利益剰余金	64,667	65,220	＋553
自己株式	▲17,591	▲17,538	＋53
その他の包括利益累計額	800	329	▲471
純資産合計	65,069	65,260	＋191
負債・純資産合計	85,087	87,789	＋2,702

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

積極的な成長投資により投資キャッシュ・フローが拡大

投資キャッシュ・フローの拡大に税引前純利益の減少が重なり、フリー・キャッシュフローは一時的なマイナスに着地

	2025/3期				2026/3期				2027/3期	
（百万円）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,938	2,688	1,841	4,746	2,989	1,897	1,733	4,088	**1,530**	**1,012**
税引前四半期純利益	2,554	2,876	2,375	3,350	3,199	2,293	2,347	2,742	**1,575**	**1,629**
減価償却費	729	763	794	819	768	794	830	870	**864**	**894**
債権債務増減	506	▲475	736	▲909	462	▲67	321	▲669	**494**	**▲373**
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,168	▲1,174	▲1,124	▲1,106	▲1,286	▲976	▲1,324	▲1,187	**▲1,275**	**▲1,459**
有形固定資産の取得による支出	▲1,060	▲1,045	▲1,026	▲1,047	▲1,218	▲870	▲1,240	▲1,027	**▲844**	**▲1,335**
フリーキャッシュ・フロー	**770**	**1,514**	**716**	**3,639**	**1,703**	**921**	**409**	**2,900**	**255**	**▲447**
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,911	▲501	▲1,912	▲500	▲16,572	▲500	▲1,965	▲500	**▲1,971**	**4,500**
借入金等の増減額（▲は減少）	▲500	▲500	▲500	▲500	▲500	▲500	▲500	▲500	**▲500**	**5,500**
自己株式の取得による支出	▲0	▲1	-	-	▲14,490	-	-	-	**▲0**	**-**
配当金の支払額	▲1,411	-	▲1,412	-	▲1,582	-	▲1,465	-	**▲1,470**	**-**
現金及び現金同等物の増減額	▲1,140	1,016	▲1,203	3,151	▲14,882	446	▲1,561	2,405	**▲1,715**	**4,057**
現金及び現金同等物の期末残高	35,156	36,172	34,969	38,120	23,237	23,683	22,122	24,527	**22,812**	**26,870**

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

上期業績を受けて業績予想を修正

上期の未達分を通期予想へ反映し計画を修正
下期計画は足元で回復傾向が見られることから当初予想を据え置き

（百万円）	2025/3期 実績	2026/3期 実績	2027/3期 当初計画（2026/5/15）	2027/3期 修正計画（2026/10/30）	2027/3期 前期比 増減額	2027/3期 前期比 増減率	2027/3期 当初計画比 増減額	2027/3期 当初計画比 増減率
売上高	111,033	116,838	121,357	**118,381**	＋1,543	＋1.3%	▲2,976	▲2.5%
売上総利益	75,602	78,916	81,581	**79,502**	＋586	＋0.7%	▲2,079	▲2.5%
売上総利益率	68.1%	67.5%	67.2%	**67.2%**	-	-	-	-
販管費	64,697	68,505	70,630	**70,384**	＋1,879	＋2.7%	▲246	▲0.3%
販管費率	58.3%	58.6%	58.2%	**59.5%**	-	-	-	-
営業利益	10,904	10,410	10,951	**9,117**	▲1,293	▲12.4%	▲1,834	▲16.7%
営業利益率	9.8%	8.9%	9.0%	**7.7%**	-	-	-	-
経常利益	11,312	10,702	11,036	**9,254**	▲1,448	▲13.5%	▲1,782	▲16.1%
経常利益率	10.2%	9.2%	9.1%	**7.8%**	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	8,071	7,470	7,096	**5,862**	▲1,608	▲21.5%	▲1,234	▲17.4%
純利益率	7.3%	6.4%	5.8%	**5.0%**	-	-	-	-
1株当たり当期純利益	142.88円	140.84円	135.09円	**111.54円**	▲29.30円	▲20.8%	▲23.55円	▲17.4%

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

通期計画と下期の利益回復

下期は、売上高で前年同期比＋4.9%、営業利益で約60億4,800万円・＋18.7%を計画
営業利益率は前年下期の8.7%から9.9%へ改善。販管費の上昇は＋2.8%に抑える

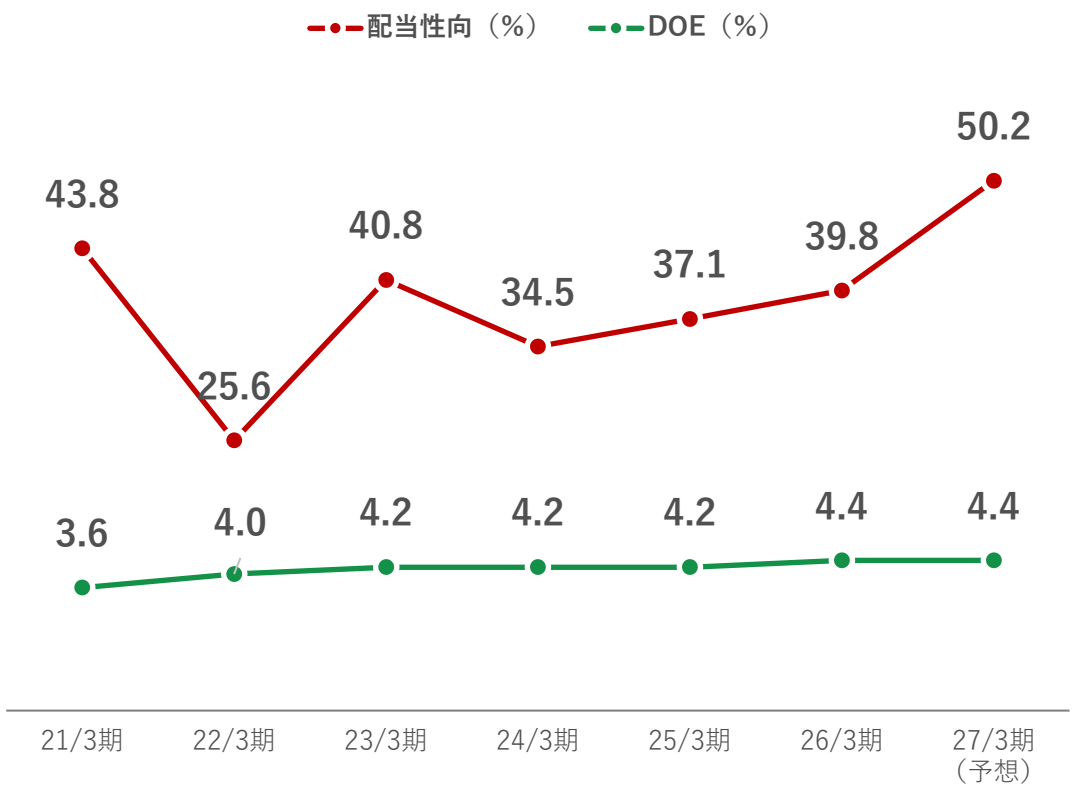
（百万円）	2026/3期		2027/3期			
	上期	下期	上期	下期(計画)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	58,503	58,335	**57,203**	**61,177**	＋2,842	＋4.9%
売上総利益	39,577	39,339	**38,257**	**41,244**	＋1,905	＋4.8%
売上総利益率	67.6%	67.4%	**66.9%**	**67.4%**	-	-
販管費	34,262	34,243	**35,188**	**35,195**	＋952	＋2.8%
販管費率	58.6%	58.7%	**61.5%**	**57.5%**	-	-
営業利益	5,314	5,096	**3,068**	**6,048**	＋952	＋18.7%
営業利益率	9.1%	8.7%	**5.4%**	**9.9%**	-	-
経常利益	5,462	5,240	**3,262**	**5,991**	＋751	＋14.3%
経常利益率	9.3%	9.0%	**5.7%**	**9.8%**	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	3,655	3,815	**2,023**	**3,839**	＋24	＋0.6%
純利益率	6.2%	6.5%	**3.5%**	**6.2%**	-	-
1株当たり当期純利益	68.30円	72.54円	**38.51円**	**73.03円**	＋0.49円	＋0.7%

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

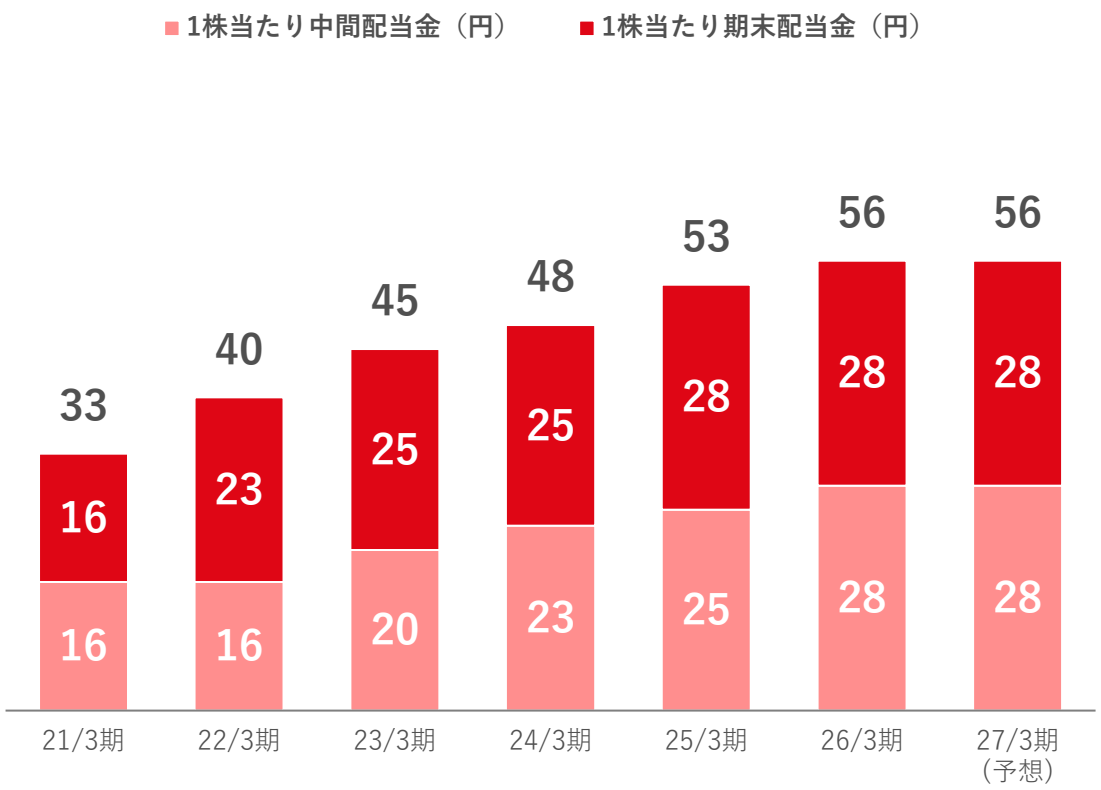
過去最高の年間配当56円を維持

DOEを意識した安定的な株主還元を継続し、過去最高となる年間配当56円を維持

配当性向とDOEの推移



1株当たり配当金の推移

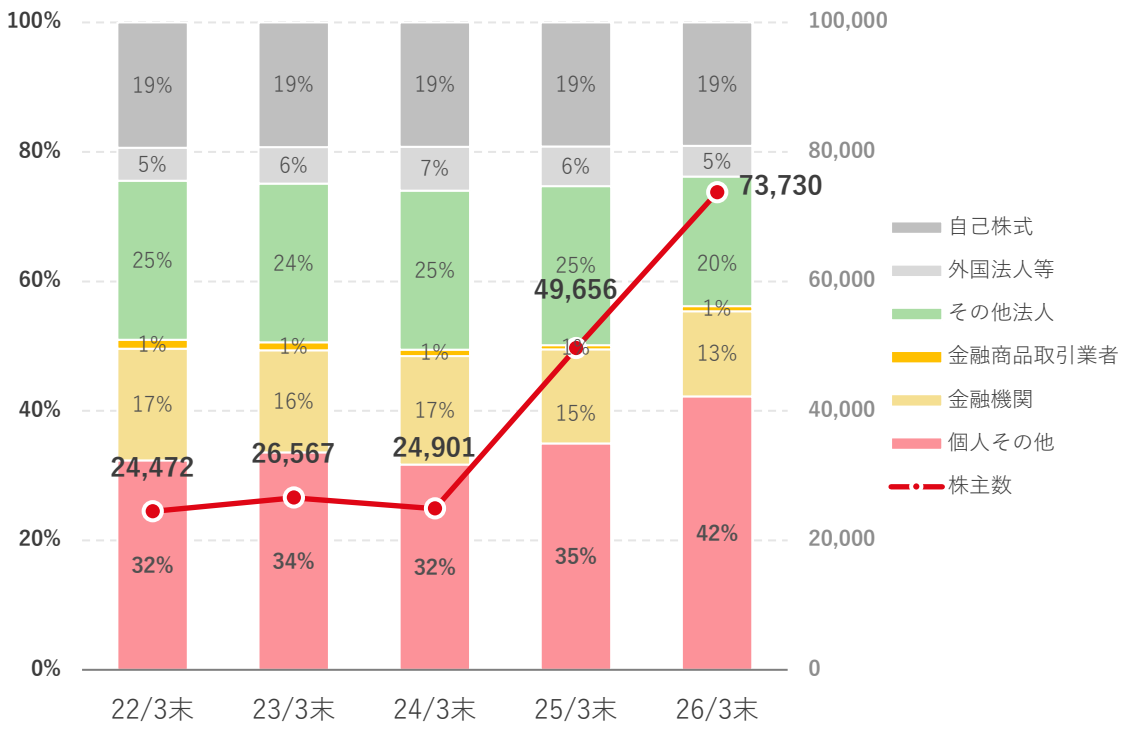


© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

株主優待制度を電子化、優待券の金額を増額

2024年９月末の株式分割・株主優待の贈呈基準変更以降、株主数は増加、個人投資家の構成比は拡大
2026年９月末基準の株主優待から、環境への配慮と利便性向上を目的に電子化。優待券のさらなる増額も実施

株主構成と株主数の推移



株主優待制度を拡充

保有株式数	変更前	変更後（2026年9月～）
100株以上　300株未満	2,000円分（年間4,000円分）	**2,500円分（年間5,000円分）**
300株以上　500株未満	3,000円分（年間6,000円分）	**4,000円分（年間8,000円分）**
500株以上　1,000株未満	4,000円分（年間8,000円分）	**5,000円分（年間10,000円分）**
1,000株以上　2,000株未満	6,500円分（年間13,000円分）	**8,000円分（年間16,000円分）**
2,000株以上　4,000株未満	12,500円分（年間25,000円分）	**15,000円分（年間30,000円分）**
4,000株以上	17,500円分（年間35,000円分）	**21,000円分（年間42,000円分）**

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

業績回復に向けた取り組みと成長投資の進捗

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

７月以降の回復を、下期の利益につなげる

第１四半期は苦戦し、上期は計画未達。王将の強みを十分に発揮できていたかを重く受け止め
直営既存店売上は２Ｑに前年同期並みへ回復し、10月は客数＋2.1%・売上＋2.6%

直営既存店の回復

第１四半期（4–6月）

直営既存店売上高

前年同期比　▲4.9%

第２四半期（7–9月）

直営既存店売上高

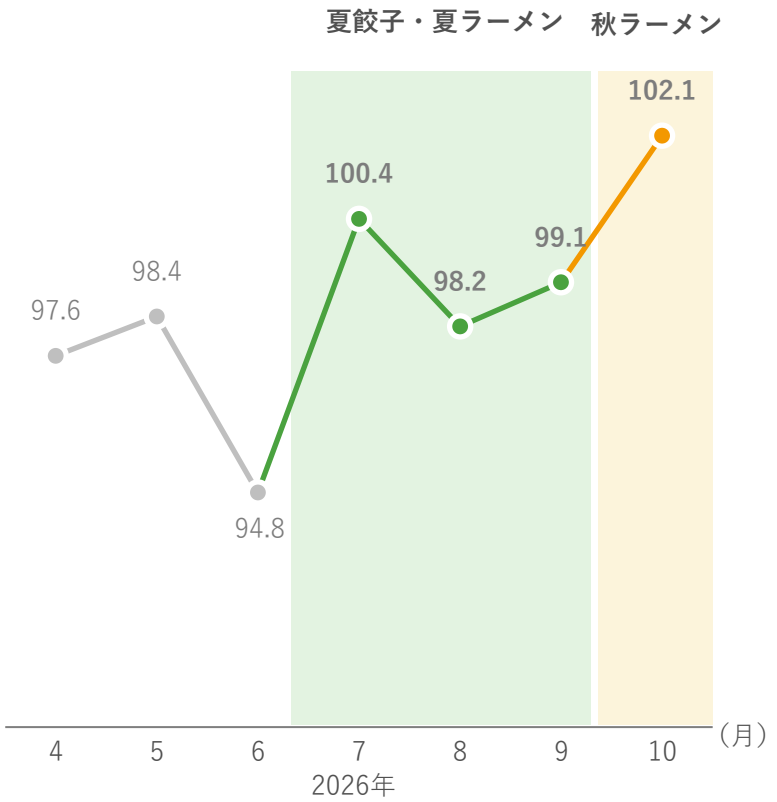
前年同期比　±0.0%

10月の直営既存店（前年同月比）

客数　＋2.1%　／　売上　＋2.6%

下期は、季節商品などを誘因とした来店の提案と、店舗運営の改善を一体で進める

既存店客数*の推移



*既存店客数は前年同月比

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

季節商品の手応えを、餃子全体の数量で確かめる

当社初の季節限定餃子「夏餃子」と「夏ラーメン」を発売。９月には「秋ラーメン」を発売
にんにくゼロ生姜餃子も「大葉香るにんにくゼロ生姜餃子」へリニューアル

投入した季節商品



夏餃子



夏ラーメン



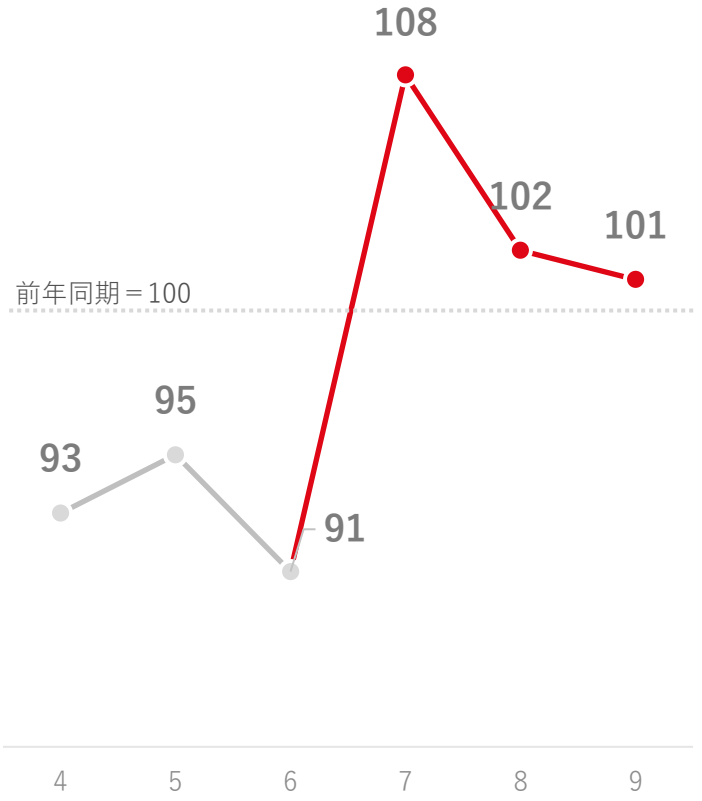
秋ラーメン

リニューアル商品



大葉香る
にんにくゼロ生姜餃子

全餃子商品の販売数の推移



長年続けてきた月替わりフェアを、季節ごとの商品へ切り替え。味や品質を磨き上げ、調理方法を十分に習得した従業員が調理し、王将へ行く楽しみを感じていただく

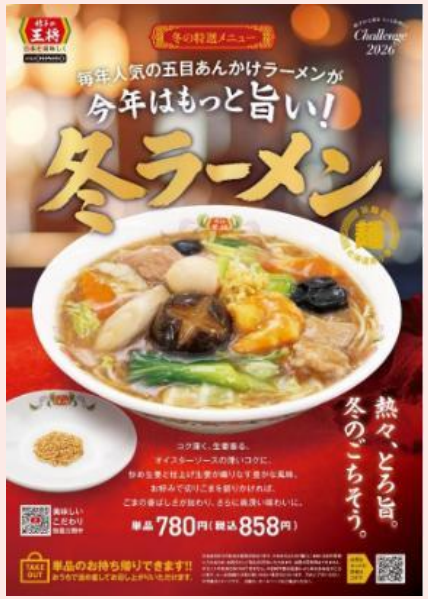
© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

冬の商品と選びやすい提案で、客数・客単価を伸ばす

11月10日から冬ラーメンを発売。各店は客数増加を目指す時間帯を定めて提案
気軽な価格帯を大切に、一人ひとりに合う提案で満足度を高め、客単価につなげる

冬の商品

11月10日発売



10種類の具材がたっぷり入ったオイスターソースの
深いコクと生姜の豊かな風味が広がる熱々のラーメン

選びやすい提案

重点時間帯に合わせた提案

平日の昼は、限られた休み時間でも手早く、おいしい食事を楽しんでいただけること。週末は、ご家族でいろんな料理をシェアして楽しめること。利用される場面に合わせ、伝え方とご提供方法を変える

餃子の王将ランチ

お得で早い
高コスパランチ



餃子

もう一品なら餃子



ジャストサイズ

少しずつ楽しみたい方へ
小皿メニュー



極王シリーズ

いつもと違う味を
ワンランク上で



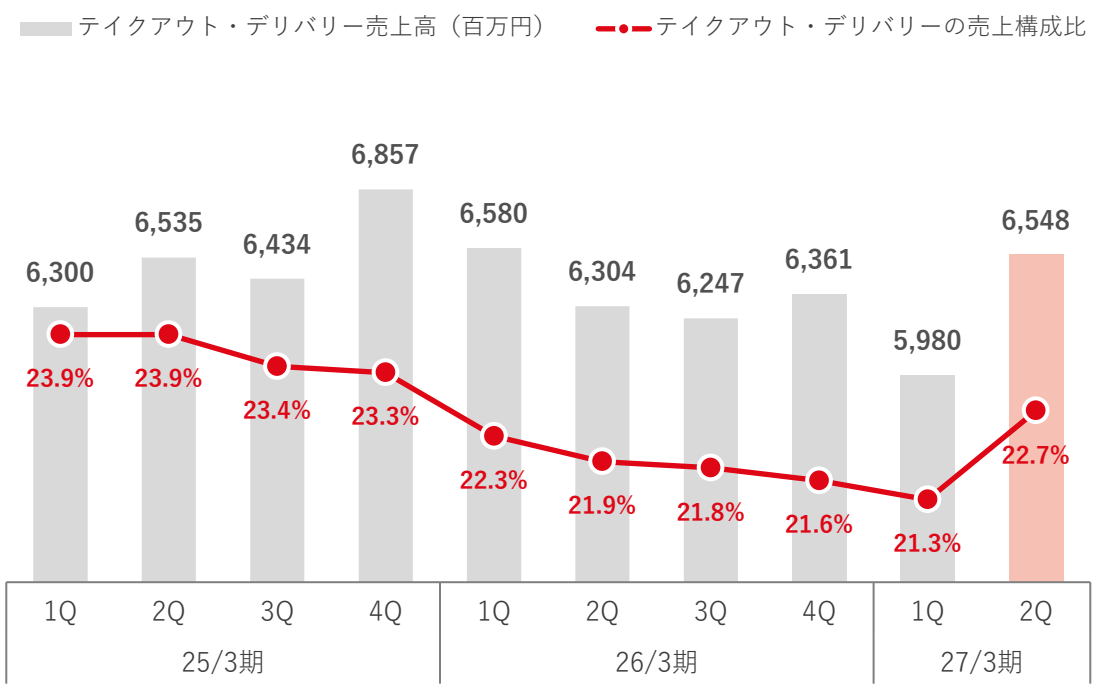
選びやすい提案で満足度を高め、客数・客単価を伸ばす

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

店外の使いやすさを高め、需要の変化に備える

テイクアウトはネット予約のクーポン表示と受取時間を改善し、店内飲食と動線を分ける
デリバリーは店内が落ち着く時間帯に対象商品を絞り、手数料・販促費を含む採算を管理
2027年４月の消費税率引下げに向けた政府方針を踏まえ、来期を見据えて備える

テイクアウト・デリバリー売上高の推移



テイクアウト

ネット予約のクーポン表示を分かりやすくし、受取時間もより細かく選べるよう改善

店内飲食のお客様との動線を分け、受け取りまでの利便性を高める



デリバリー

対象商品を絞り、オペレーションを効率化

店内客数の落ち着く時間帯に実施し、手数料・販促費を含む採算を管理



© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

提供の流れを整え、モバイルオーダーを広げる

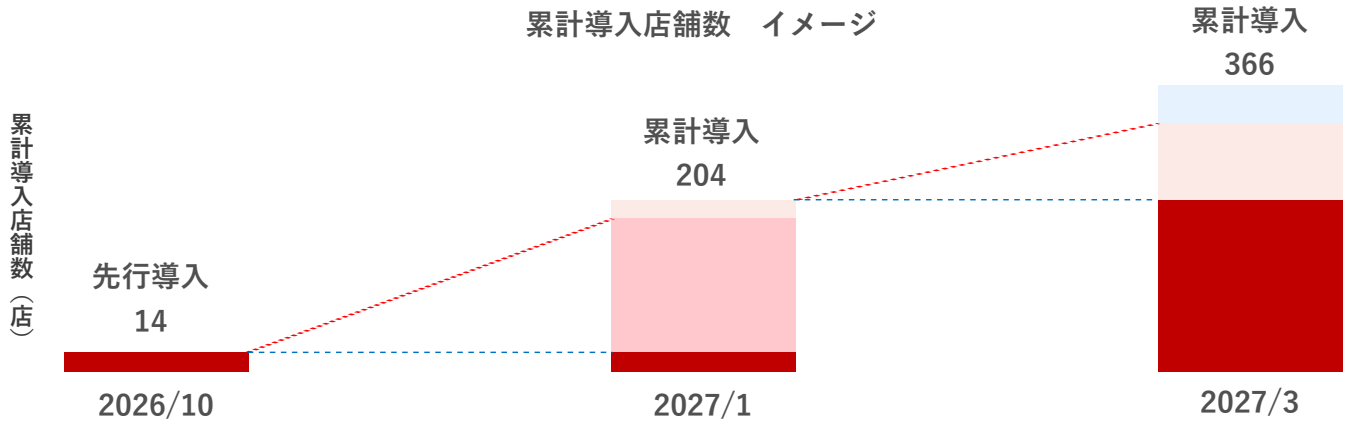
店内モバイルオーダーは直営14店舗で先行導入。2026年11月～2027年３月に約350店舗へ追加導入
注文を受ける業務の負担を軽減し、料理の提供スピードの向上に力を振り向ける



直営対象店舗（352店舗）への導入スケジュール

内容	2026年		2027年		
	11月	12月	1月	2月	3月
優先度【高】店舗への導入	164件				
優先度【中】店舗への導入			122件		
優先度【低】店舗への導入					66件

累計導入店舗数　イメージ

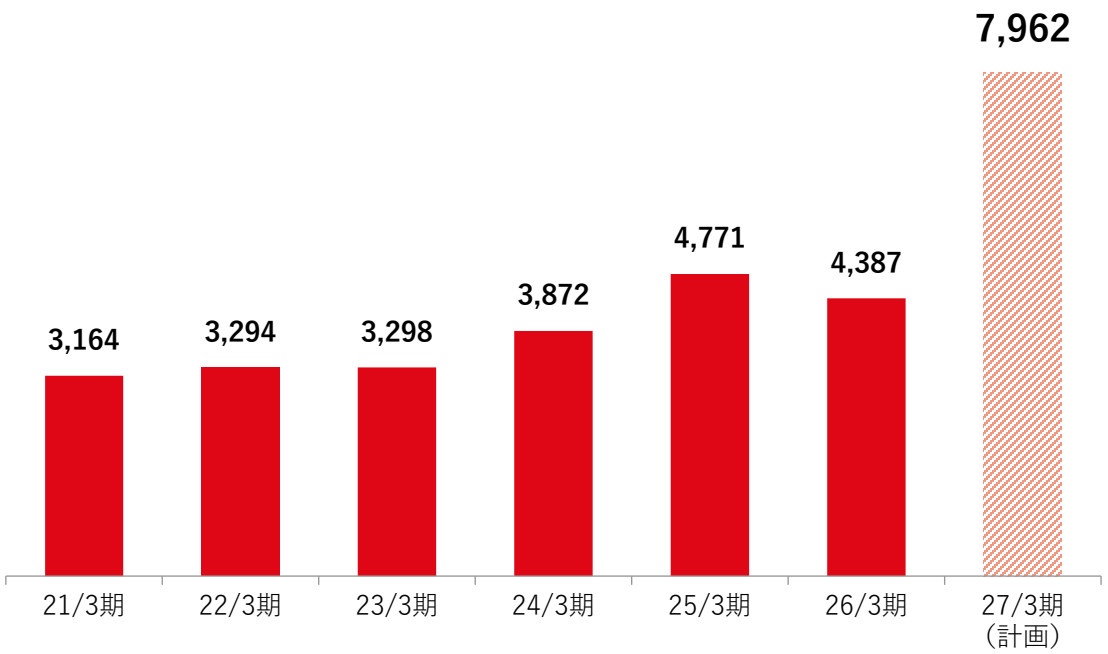


© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

出店と改装を進め、店舗の競争力を高める

設備投資は上期25億53百万円、通期79億62百万円を計画。今期の出店計画は18店舗（純増16店舗）
下期は賃貸借契約済みの11店舗を含め出店。改装で提供スピードや利便性、店舗生産性を高める。

設備投資額の推移



2027年３月期 下期　賃貸借契約済み新規店舗

（10月末現在）

出店エリア	直営	FC	合計
北海道	1	ー	1
首都圏	4	1	5
東海	ー	1	1
関西	3	1	4
合計	**8**	**3**	**11**

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

海外でも、餃子を中心とする日常食を広げる

台湾は４月に台中へ出店し、高雄・台北・台中の三大都市圏へ展開
豪州は８月にシドニーへ子会社を設立し、餃子を中心とする日常食の事業を準備
現地のお客様の反応と採算を確認しながら展開。現地企業との提携の可能性も検討

たいちゅうはんしんぞうじてん
台中漢神洲際店



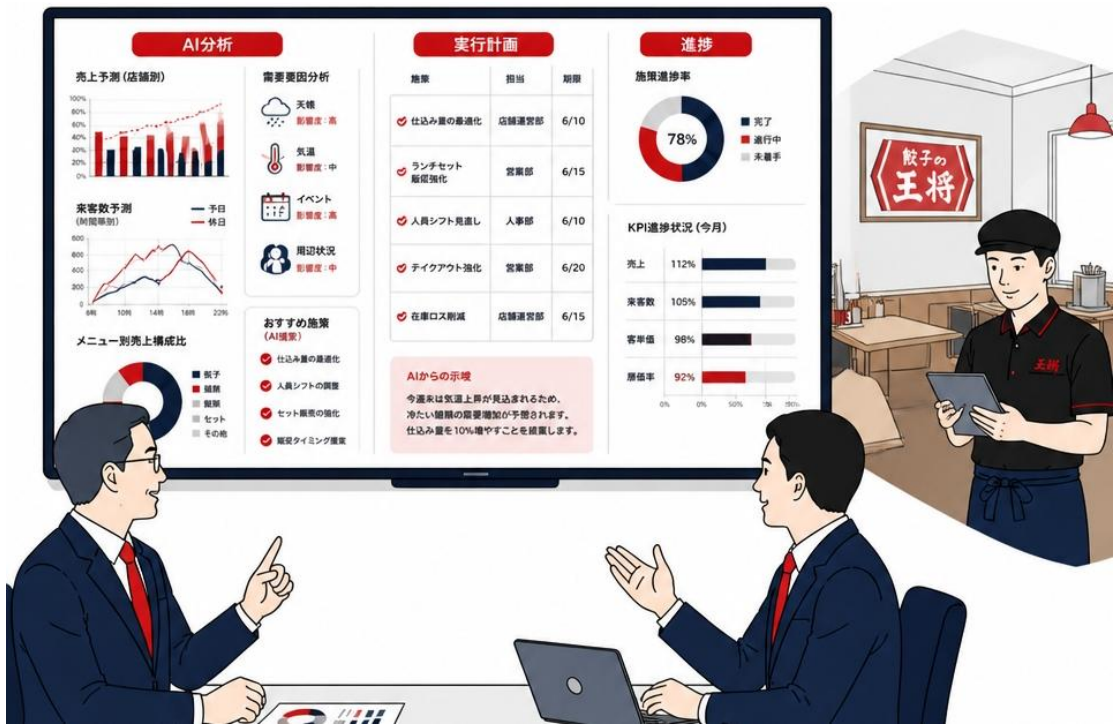
ファストカジュアル型餃子ダイナーの展開



AIで店舗の判断と運営を支える

各店の実行計画（PDCA）や進捗の分析には、すでにＡＩを活用
2027年春にＡＩ店舗経営分析ツール、自動受発注、シフト管理ツールの導入を予定

現在　実行計画・進捗のＡＩ分析



各店の実行計画や進捗をＡＩで分析。社長と営業幹部が分析結果を確認し、店長が何に困っているのか、どこに支援が必要なのかを把握実際の営業の状況と照らし合わせ、改善につなげる。効果のある施策については横展開を検討。

2027年春 導入予定　３つのＡＩ業務ツール



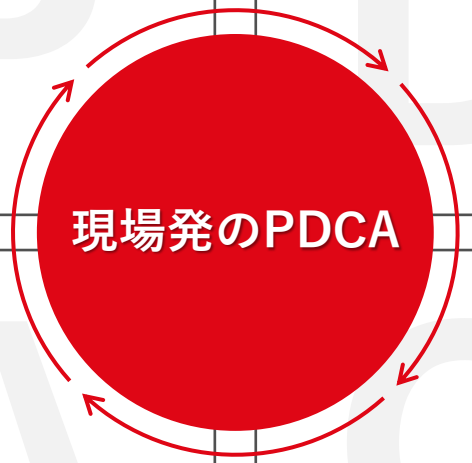
分析・発注・シフト作成の負担を減らし、
調理・接客・育成に向き合う時間を確保する

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

店長の実行を支え、成果が出るまでやり切る

店長は実行計画に基づき、重点時間帯と取り組む行動をスタッフと共有
営業部長・エリアマネジャーが実行を妨げる要因を取り除き、課題を解決
毎週、客数・客単価・提供の状況を確認し、成果が出た取り組みは横展開する

決めた行動を続け、結果を確かめ、改善を重ねて、店の習慣にする



計画・共有 店長

店長が実行計画に基づき、
重点時間帯と取り組む行動を
スタッフと共有

店長 施策の実行

決めた行動を日々の営業で続ける
営業部長とエリアマネジャーが
実行を妨げる要因を取り除く

共有・展開 本社 社長

成果が出た取り組みは他店へ横展開
社長が店長と直接対話しながら
必要な支援を行う

本社 確認・検証

毎週、客数・客単価・提供の状況を確認
実行が進まない場合は原因を解消
成果が出なければ方法を見直す

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

下期営業利益 約60.5億円の達成へ

下期は、売上高で前年同期比＋4.9%、営業利益で約60億4,800万円・＋18.7%を計画
客数と客単価の両立で粗利益を確保し、販管費の上昇を＋2.8%に抑える

2027年３月期 下期計画（前年同期比）

下期 売上高	下期 営業利益	下期 販管費
＋4.9%	約60.5億円	＋2.8%
611億7,700万円	＋18.7%（営業利益率 9.9%）	上昇を抑制し利益回復につなげる

お客様から褒められる店づくりを、業績の回復という結果につなげる。
この下期、全社を挙げて修正後の通期計画の達成に取り組んでまいります。

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP

●将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。

●予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。

お問い合わせ先

広報IR部

E-mail：ir@ohsho.co.jp

© 2026 OHSHO FOOD SERVICE CORP